

牛久：学校周辺に見る自然

第28号 牛久二小、牛久自然観察の森

2020年3月5日発行

< 春の足音 >

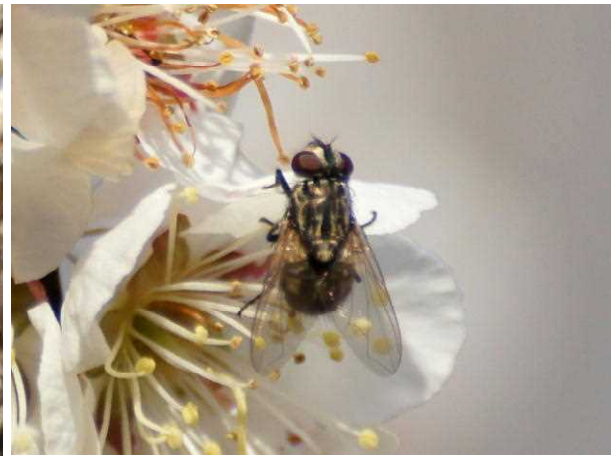
こんにちは。いきなりの休校、いかがお過ごしでしょうか？ 私もいきなり仕事がなくなり困ってしま
すが、休校に伴うたくさんの課題を専門家の意見も聞きながら熟慮された上での決定でしょうし、世
の中を見るいい機会にはなりました。皆さんもストレスがたまるでしょうが、自分で考え行動するいい
機会ととらえて、安全に、そして読書や散歩など時間を有効に使って過ごしてくれたらと願っています。

さて、こんな中でも、春は少しずつ着々と近づいているんだなあと感じることが多くなりましたので、
いくつか紹介したいと思います。



ほぼ満開のアンズ(上2枚と中左)とサンシュユ
(中右2枚)、咲き始めたユキヤナギ(下):牛久二小。

昨日、用事で牛久二小に行ったときに、
ビオトープのアンズが咲いてるのが見
えました。写真を撮りに行くと、サンシュ
ユも咲いていました。校舎裏のユキヤナ
ギも咲き始めていました。アンズとウメ
とスモモ、サクラの違いがわかりますか？
機会があれば、ながめてみて下さい。



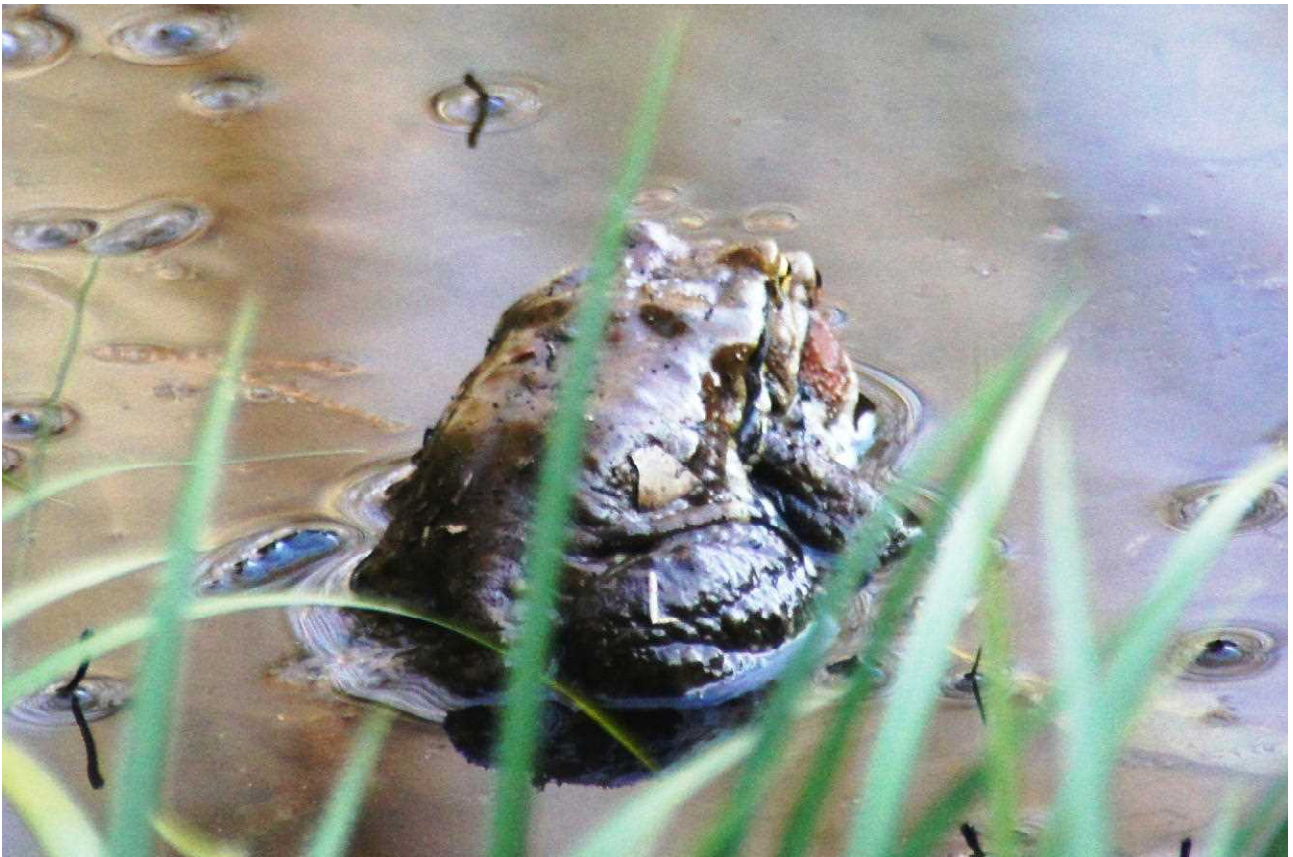
満開のウメ（上左）と花粉をなめるハエ（上右）。蜜を吸うニホンミツバチ（下）：3/1、牛久自然観察の森。
 牛久自然観察の森では3 / 1日曜日、梅園のウメが満開でした。杉林に囲まれていて、花粉症の私は帽子とマスクで勇気をふりしぼって観察してきました。天気もよく、いい香りが漂う中、ハエやハナアブ類が花粉をなめたり、ニホンミツバチが蜜を吸ったりしていました。メジロやヒヨドリも、蜜を吸いに来ていました。



先日ご紹介した成虫で冬を越すホソミオツネトンボは、すでに枝からいなくなっていました。暖かくなり、どこかに飛んでいったのでしょうか。さらに歩き進むと、木の幹に開いた穴に黄色いものを見つけました。よく見ると、スズメバチのようです。スズメバチは女王だけが朽木や倒木、土中で越冬すると聞きますが、こんなところで冬を越すのもいるのですね。
 幹に開いた穴で越冬するスズメバチ。
 3/1 牛久自然観察の森。



シジュウカラやエナガ、コゲラに混じって、メジロもいました。眼の周りが白いので、目白（めじろ）。飛んでいる姿は空気抵抗が小さくなるように、まるで弾丸のようです。春を前に野鳥の活動も活発になってきます。しかもまだ枝や葉は伸びてこないの、観察しやすいですよ。でもまだ寒い日も多いですから、防寒をしっかりとね。
 枝から枝へ飛びうつる、メジロ。



どこにいたのか、たくさんのヒキガエルが集まり始め、抱接ほうせつしているものもいた。3/1 牛久自然観察の森。



コムラサキの池では、いったいどにいたのかたくさんのアズマヒキガエルが集まり始めて、中には抱接ほうせつしているものもいました。

ネイチャーセンター前の池には、二ホンアカガエルでしょうか、カエルの卵たまごが産まれていました。アカガエルは暖冬の影だんとう えいきょう響か、千葉では1月中下旬にもう見つけたという話もありました。

アカガエル?のたまご。 3/1 牛久自然観察の森。

最後にちょっと宣伝。冬のイルミネーションで有名な、かすみ が うちそうごうこうえん霞ヶ浦総合公園のネイチャーセンター2階に、私が写した虫と鳥の写真が展示されています。そろそろ春の写真に変わりますが、機会きかいがあればご覧らん下さい。 【理科支援員：宮内】

てんじ かすみ が うちそうごうこうえん写真展示。霞ヶ浦総合公園ネイチャーセンター2階。

